



平成28年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年3月8日

上場会社名 日本ビューホテル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6097 URL <http://www.viewhotels.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 矢島 学 TEL 03-5828-4429 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第3四半期の連結業績（平成27年5月1日～平成28年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第3四半期	14,776	5.6	1,185	34.8	1,116	4.9	670	2.3
27年4月期第3四半期	13,994	3.0	880	25.4	1,064	27.1	655	23.8

(注) 包括利益 28年4月期第3四半期 669百万円 (2.8%) 27年4月期第3四半期 651百万円 (23.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第3四半期	69.35	68.61
27年4月期第3四半期	68.48	67.80

(注) 当社は、平成26年7月23日に東京証券取引所市場第二部に上場しているため、平成27年4月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成27年4月期第3四半期連結会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなし算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年4月期第3四半期	23,491	14,625	62.3
27年4月期	22,866	14,118	61.7

(参考) 自己資本 28年4月期第3四半期 14,625百万円 27年4月期 14,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年4月期	—	0.00	—		
28年4月期（予想）				25.00	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 28年4月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成28年4月期の連結業績予想（平成27年5月1日～平成28年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	7.2	1,200	38.0	1,100	3.9	600	2.1	62.09

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 平成28年4月期の業績予想の1株当たり当期純利益はストック・オプション行使分（30,000株）を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年4月期3Q	9,674,425株	27年4月期	9,644,425株
② 期末自己株式数	28年4月期3Q	－株	27年4月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年4月期3Q	9,660,679株	27年4月期3Q	9,565,853株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策により企業収益や雇用情勢の改善などが見られ、国内景気は緩やかな回復基調を続けました。しかしながら、中国経済の減速懸念や人民元安、原油価格の急落などの要因から円高や日本株の下落を引き起こすなど、今後の企業業績への影響が懸念される事象もあり、先行きの不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、政府の観光立国推進に向けた政策や円安を背景とする訪日外国人旅行者数の急増に伴い、宿泊需要が拡大傾向を続けております。その一方、中国経済の減速懸念や欧州の債務問題など、今後の訪日外国人旅行者マーケットの不確実性も指摘されております。

このような経営環境のもと、当社グループは、平成28年4月期からの3ヶ年の中期経営計画「VIEW HOTELS V-STAGE 280」の基本方針1)既存施設での継続的な設備投資、2)新規ホテル・旅館の展開、3)新規事業の展開に基づき、既存事業の持続的な成長と事業基盤の拡大のための取組みを進めております。平成27年11月には「両国ビューホテル」を開業いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,776百万円（前年同期比5.6%増）となり、営業利益は1,185百万円（前年同期比34.8%増）、経常利益は1,116百万円（前年同期比4.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は670百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの 名称	売上高			セグメント利益（営業利益）			減価償却前営業利益(*)		
	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)
ホテル事業	11,624	12,282	658	716	971	254	1,461	1,701	239
施設運営事業	1,343	1,459	116	6	39	33	22	60	37
遊園地事業	1,101	1,108	7	151	168	17	203	214	11
合計	14,069	14,850	781	873	1,179	305	1,687	1,976	289
調整額	△74	△74	0	6	6	△0	6	6	△0
連結数値	13,994	14,776	782	880	1,185	305	1,694	1,983	288

(*) 減価償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費

①ホテル事業

ホテル事業では、平成27年11月、賃借により「両国ビューホテル」を開業いたしました。両国ビューホテルでは、7階から11階の客室87室を江戸情緒をテーマとした客室に改装するとともに、定員を増やすことにより宿泊需要の取り込みの最大化を図っております。また4階から6階の客室についても同様の改装工事を実施中であり、今春には全150室の改装を終える予定です。

既存事業所においては、集客力の更なる強化の為、浅草ビューホテルの4階宴会場およびスカイグリルブッフェ「武蔵」、成田ビューホテルの客室90室、秋田ビューホテルのチャペル、高崎ビューホテルのレストラン「The Kitchen NOVA」などの改修工事を実施いたしました。

販売戦略としましては、宿泊部門において急激な伸びを見せる訪日外国人旅行者マーケットへの対応としてインターネットによる集客に注力し、レベニューマネジメントにより売上高の最大化を図ってまいりました。また、婚礼・宴会部門では、前連結会計年度までに実施してまいりました改装の効果などの要因により婚礼の受注が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は12,282百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は971百万円（前年同期比35.6%増）となりました。

②施設運営事業

施設運営事業におきましては、「ぎょうけい館」や「ホテルプラザ菜の花」の宿泊プランの充実などにより営業力の強化を図りました。また、前連結会計年度の平成26年6月に取得した「おくたま路」が通期での営業となった事が業績に寄与いたしました。

これらの結果、売上高は1,459百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は39百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、花火大会やナイトイルミネーションなど話題性のあるイベントにより集客に努めた他、集客の回復に遅れのあった学校などの団体集客の営業を強化してまいりました。また、販売費及び一般管理費全般にわたり経費の低減に努めました。

これらの結果、売上高は1,108百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は168百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、23,491百万円（前連結会計年度末22,866百万円）と、625百万円増加いたしました。

うち流動資産は、4,672百万円（同4,772百万円）と、100百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、18,819百万円（同18,093百万円）と、726百万円増加いたしました。これは、主に両国ビューホテル、成田ビューホテル、浅草ビューホテルの設備投資による固定資産の増加によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、8,866百万円（前連結会計年度末8,747百万円）と、118百万円増加いたしました。

うち流動負債は、4,331百万円（同3,934百万円）と、397百万円増加いたしました。これは、主に買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、4,534百万円（同4,813百万円）と、278百万円減少いたしました。これは、主に社債の減少によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、14,625百万円（前連結会計年度末14,118百万円）と、506百万円増加いたしました。これは、主に剰余金の配当の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、62.3%（前連結会計年度末比0.6ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年6月9日に公表しました平成28年4月期通期の連結業績予想を本資料において修正いたしました。なお、当該予想数値に関する詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,490	3,086
売掛金	659	808
貯蔵品	184	176
繰延税金資産	155	100
その他	282	500
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,772	4,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,624	9,887
機械装置及び運搬具（純額）	273	261
工具、器具及び備品（純額）	503	559
土地	6,009	5,974
建設仮勘定	9	360
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	16,419	17,042
無形固定資産		
借地権	1,380	1,380
その他	34	28
無形固定資産合計	1,414	1,408
投資その他の資産		
投資有価証券	42	47
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	146	125
その他	78	201
貸倒引当金	△102	△100
投資その他の資産合計	259	368
固定資産合計	18,093	18,819
資産合計	22,866	23,491

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	462	830
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,337
リース債務	36	41
未払金	1,064	1,164
未払法人税等	206	109
未払消費税等	276	188
賞与引当金	247	115
ポイント引当金	38	36
その他	237	344
流動負債合計	3,934	4,331
固定負債		
社債	583	501
長期借入金	3,193	3,120
リース債務	90	85
退職給付に係る負債	474	440
資産除去債務	47	47
長期未払金	251	186
その他	173	154
固定負債合計	4,813	4,534
負債合計	8,747	8,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,766
資本剰余金	1,671	1,686
利益剰余金	9,572	10,049
株主資本合計	13,995	14,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	6
退職給付に係る調整累計額	120	116
その他の包括利益累計額合計	123	123
純資産合計	14,118	14,625
負債純資産合計	22,866	23,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
売上高	13,994	14,776
売上原価	3,626	3,724
売上総利益	10,368	11,051
販売費及び一般管理費	9,488	9,865
営業利益	880	1,185
営業外収益		
受取補償金	229	—
その他	64	70
営業外収益合計	293	70
営業外費用		
支払利息	77	67
資金調達費用	3	3
株式公開費用	19	14
支払手数料	—	47
その他	9	7
営業外費用合計	108	140
経常利益	1,064	1,116
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	127	142
特別損失合計	127	142
税金等調整前四半期純利益	937	974
法人税、住民税及び事業税	233	228
法人税等調整額	49	76
法人税等合計	282	304
四半期純利益	655	670
親会社株主に帰属する四半期純利益	655	670

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	655	670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	3
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	△3	△0
四半期包括利益	651	669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651	669

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,599	1,294	1,099	13,994	—	13,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	48	1	74	△74	—
計	11,624	1,343	1,101	14,069	△74	13,994
セグメント利益	716	6	151	873	6	880

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,260	1,408	1,107	14,776	—	14,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	51	1	74	△74	—
計	12,282	1,459	1,108	14,850	△74	14,776
セグメント利益	971	39	168	1,179	6	1,185

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。